【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【公開番号】特開2005-204775(P2005-204775A)
【公開日】平成17年8月4日(2005.8.4)
【年通号数】公開・登録公報2005-030
【出願番号】特願2004-12798(P2004-12798)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　9/00　(2006.01)
Ｇ０７Ｆ　17/32　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　9/00　５１２Ｂ
Ｇ０７Ｆ　17/32

【手続補正書】
【提出日】平成19年1月12日(2007.1.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
景品室内に設けられて景品が載置される景品載置部と、
前記景品載置部により前後方向へ移動自在に支持され、前記景品載置部に載置された景品の後部に当接可能な引き出し部材と、
前記引き出し部材を前方へ引き出す引き出し装置と、
前記引き出し装置を前記引き出し部材の前方における所望位置へ移動させる移動装置と、
前記景品室の前方に設けられて前記移動装置を作動させるための操作を行う操作装置とを備え、
前記操作装置を操作して前記移動装置により前記引き出し装置を前記引き出し部材の前方における所望位置へ移動させ、前記引き出し装置を用いて前記引き出し部材を前方へ引き出すとき、前記景品載置部に載置された景品の後部に前記引き出し部材が当接して前記景品が前記景品載置部の前方へ引き出されて下方へ落下することで、景品を取得することができるように構成されることを特徴とする景品取得ゲーム機。
【請求項２】
前記引き出し部材は、前記引き出し部材の前端に設けられた柄部材を有して構成され、
前記引き出し装置は、前記引き出し部材の前方に設けられて前後方向へ伸縮動自在なアーム部と、前記アーム部の先端に設けられて前記柄部材に係止可能な係止部を有して構成されており、
前記係止部が前記柄部材に係止した状態で、前記アーム部の縮小作動を利用して前記引き出し部材が前記柄部材とともに引き出されることを特徴とする請求項1に記載の景品取得ゲーム機。
【請求項３】
前記柄部材は略鉛直方向に延びて形成されており、
前記係止部は、
前記アーム部の先端に繋がって設けられたベース部材と、
前記ベース部材の左右に開閉自在に設けられ、前記ベース部材から前記引き出し部材へ

向けて後方へ延びる一対の指部材と、
前記一対の指部材の先端にそれぞれ揺動可能に設けられ、所定係止位置に揺動した状態で互いに対向して内側へ延びるように構成された一対の爪部材と、
前記爪部材を前記所定係止位置に向けて付勢する付勢部材と、
前記一対の指部材を、前記所定係止位置に位置する前記一対の爪部材の間隔が前記柄部材の幅より大きい開放位置と、前記所定係止位置に位置する前記一対の爪部材の間隔が前記柄部材の幅より小さい閉止位置とに開閉させる開閉装置と、
前記ベース部材の中央に設けられ、前記柄部材に当接すると前記開閉装置が作動して前記一対の指部材が前記開放位置から前記閉止位置に閉止するように構成されたセンサー部とを有し、
前記一対の指部材が前記開放位置に開放した状態で前記アーム部の伸長作動を利用して前記一対の爪部材の間に前記柄部材を通過させることができたとき、前記センサー部が前記柄部材に当接して前記開閉装置の作動により前記一対の指部材が前記閉止位置へ閉止し、前記センサー部が前記柄部材に当接して前記一対の指部材が前記閉止位置に閉止した状態で、前記アーム部の縮小作動時に前記付勢部材の付勢力により前記所定係止位置に位置する前記一対の爪部材が前記柄部材に係止するように構成されることを特徴とする請求項３に記載の景品取得ゲーム機。
【請求項４】
前記柄部材が基端側から先端側へ向かうにつれて幅が変化する板状に形成されることを特徴とする請求項２もしくは請求項３に記載の景品取得ゲーム機。
【請求項５】
前記引き出し部材が透明もしくは半透明の材料を用いて形成されることを特徴とする請求項1から請求項４のうちいずれか一項に記載の景品取得ゲーム機。
【請求項６】
前記引き出し部材が下方に開口した方形箱状に形成され、前記引き出し部材の内部に景品が収容されるように構成されることを特徴とする請求項1から請求項５のうちいずれか一項に記載の景品取得ゲーム機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
このような目的達成のため、本発明に係る景品取得ゲーム機は、景品室内に設けられて景品が載置される景品載置部と、景品載置部により前後方向へ移動自在に支持され、景品載置部に載置された景品の後部に当接可能な引き出し部材と、引き出し部材を前方へ引き出す引き出し装置と、引き出し装置を引き出し部材の前方における所望位置へ移動させる移動装置と、景品室の前方に設けられて移動装置を作動させるための操作を行う操作装置（例えば、実施形態における上下操作スイッチ９ａおよび左右操作スイッチ９ｂ）とを備え、操作装置を操作して移動装置により引き出し装置を引き出し部材の前方における所望位置へ移動させ、引き出し装置を用いて引き出し部材を前方へ引き出すとき、景品載置部に載置された景品の後部に引き出し部材が当接して景品が景品載置部の前方へ引き出されて下方へ落下することで、景品を取得することができるように構成される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、上述の発明において、柄部材が基端側から先端側へ向かうにつれて幅が変化する

板状に形成されることが好ましい。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
本発明によれば、引き出し装置を用いて引き出し部材を前方へ引き出すとき、景品が引き出し部材により景品載置部の前方へ引き出されて下方へ落下することで、景品を取得することができるように構成されるため、引き出し装置により引き出し部材を引き出しやすくしたり、あるいは引き出しにくくしたりすることで、機構の介入を感じさせない簡易かつ自然な構造で、景品取得ゲーム機における景品払出率の調整を容易に行うことができる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
また、柄部材が基端側から先端側へ向かうにつれて幅が変化する板状に形成されることで、爪部材の間に柄部材を通過させる際の難易度を爪部材の高さ位置によって変化させることができる。